

# 表面処理技術から未来を創造する

## 第62期・2022年3月期 第1四半期決算説明資料

株式会社JCU

東証1部 4975



2021年8月4日(水)

# 2022年3月期1Q 業績概況

## 当社決算の概況

<1Q会計期間>

JCU(単体) → 4月 - 6月

海外子会社 → 1月 - 3月

### 《電子部品分野向け》

- 中国はタブレットなどの高機能デバイス、サーバー向けプリント基板の増加が継続したことに加え、春節中も一部プリント基板メーカーの稼働があったことで、薬品需要は大幅に増加
- 台湾は高機能電子デバイス、サーバー、AiP(アンテナ・イン・パッケージ)向け半導体パッケージ基板は増加、一方でスマートフォン向けプリント基板の生産は減少、薬品需要はほぼ横ばいに推移
- 韓国は半導体需要が旺盛なことを受け、半導体パッケージ基板メーカーの設備投資が進み、薬品需要は増加

### 《自動車分野向け》

- 国内は自動車や自動車部品の輸出がコロナ禍以前を上回る水準で推移、薬品需要は大幅に増加
- 海外は中国において自動車産業の回復基調が継続、薬品需要は大幅に増加。半導体不足による自動車生産減少の影響はないものの、引き続き注視

### 《装置事業》

- 自動車部品向けの設備投資は、先送り案件の再開など回復の兆しはあるものの、新規投資は慎重姿勢が継続、売上高は大幅に減少

# 2022年3月期1Q 連結実績

(単位：百万円)

	前年同期 (2021年3月期1Q)	2022年3月期1Q	対前年同期増減率
売上高	4,921	5,517	12.1%増
営業利益	1,377	1,940	40.8%増
経常利益	1,422	2,046	43.9%増
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	972	1,390	42.9%増
1株当たり 四半期純利益	36円66銭	52円95銭	—

# 為替レート

(単位：円)

	2021年3月期				2022年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	(期首予想)	1Q
中国 人民元 ( C N Y )	15.61	15.39	15.38	15.48	15.50	16.36
台湾 ドル ( T W D )	3.62	3.61	3.62	3.63	3.60	3.77
韓国 ウォン ( K R W )	0.0914	0.0898	0.0897	0.0906	0.0900	0.0951

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国 人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

為替感応度（連結年換算）：上記主要通貨1%の変動で、連結営業利益0.9億円程度

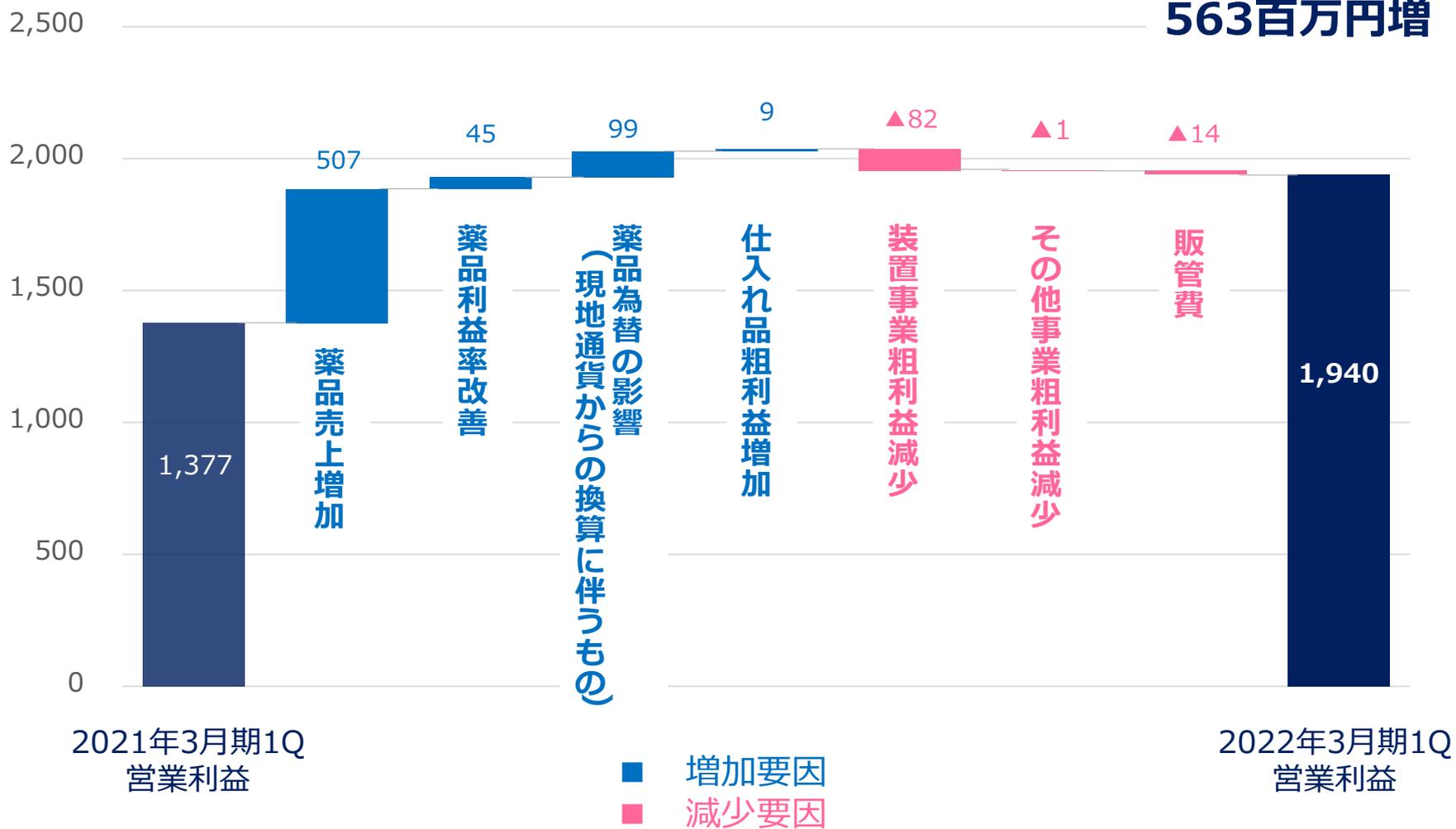
# 2022年3月期1Q

# 連結営業利益

# 増減内容

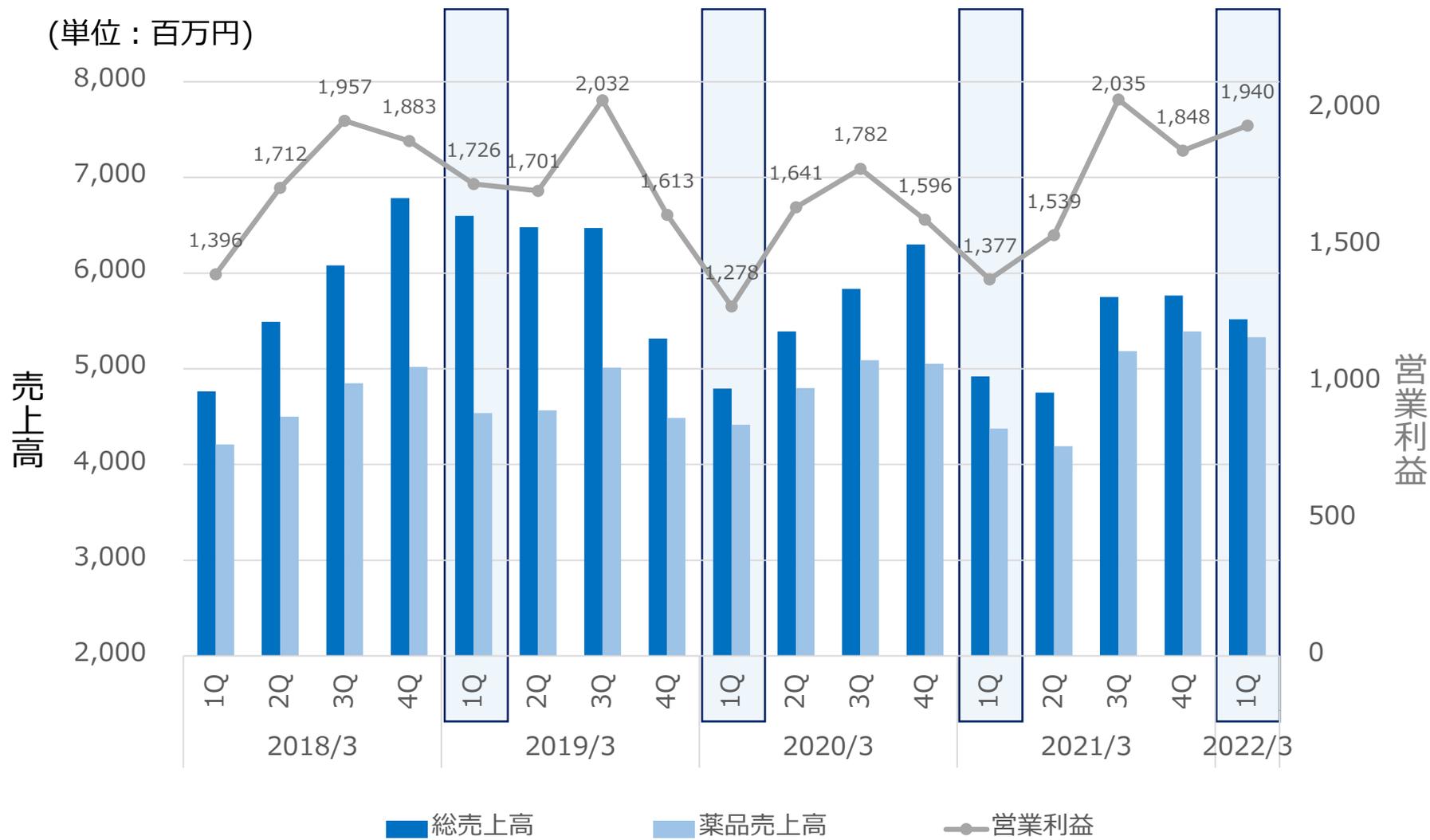
(単位：百万円)

(前年同期比)  
**563百万円増**

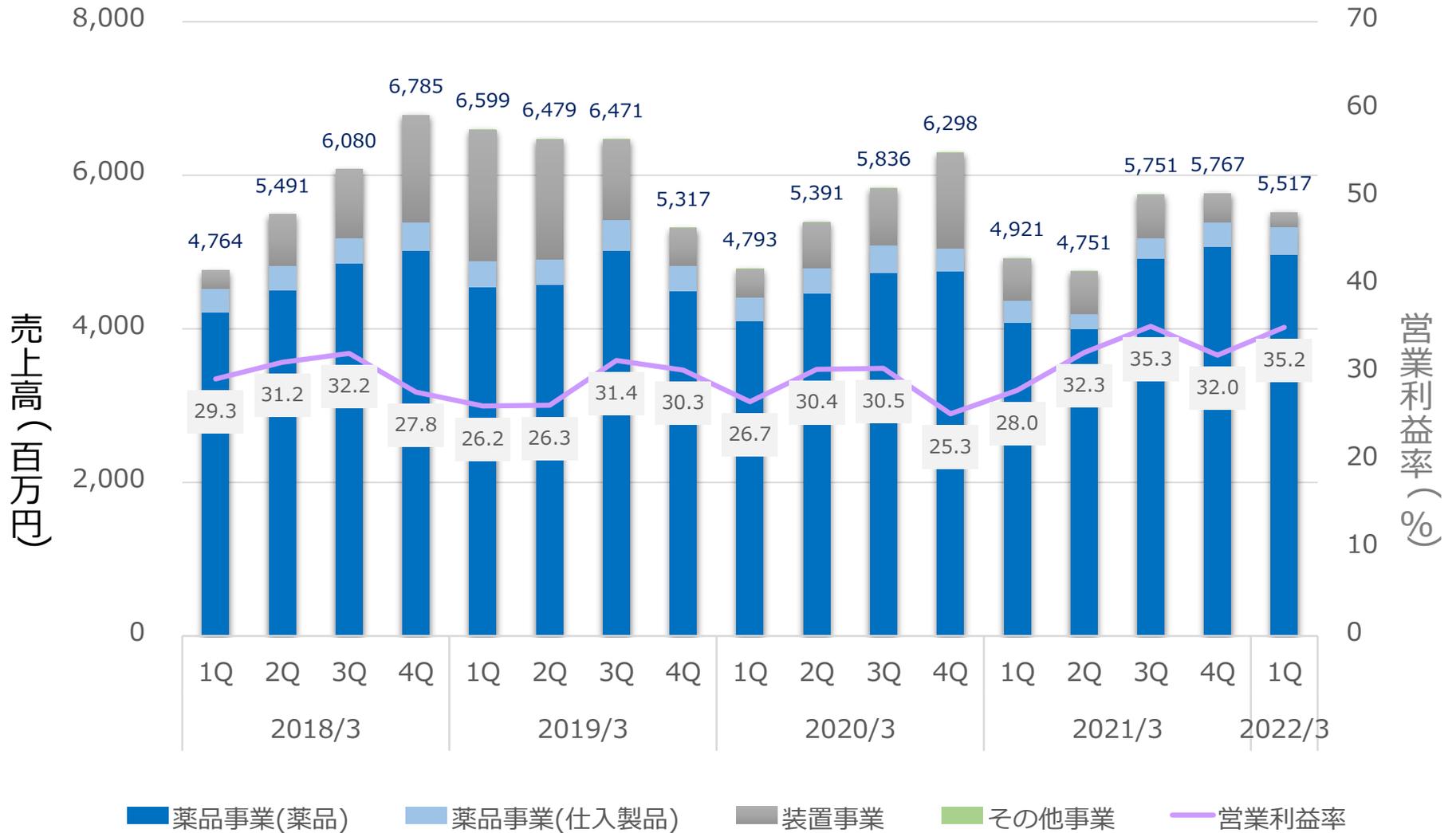


# 四半期別 連結業績の推移

(単位：百万円)

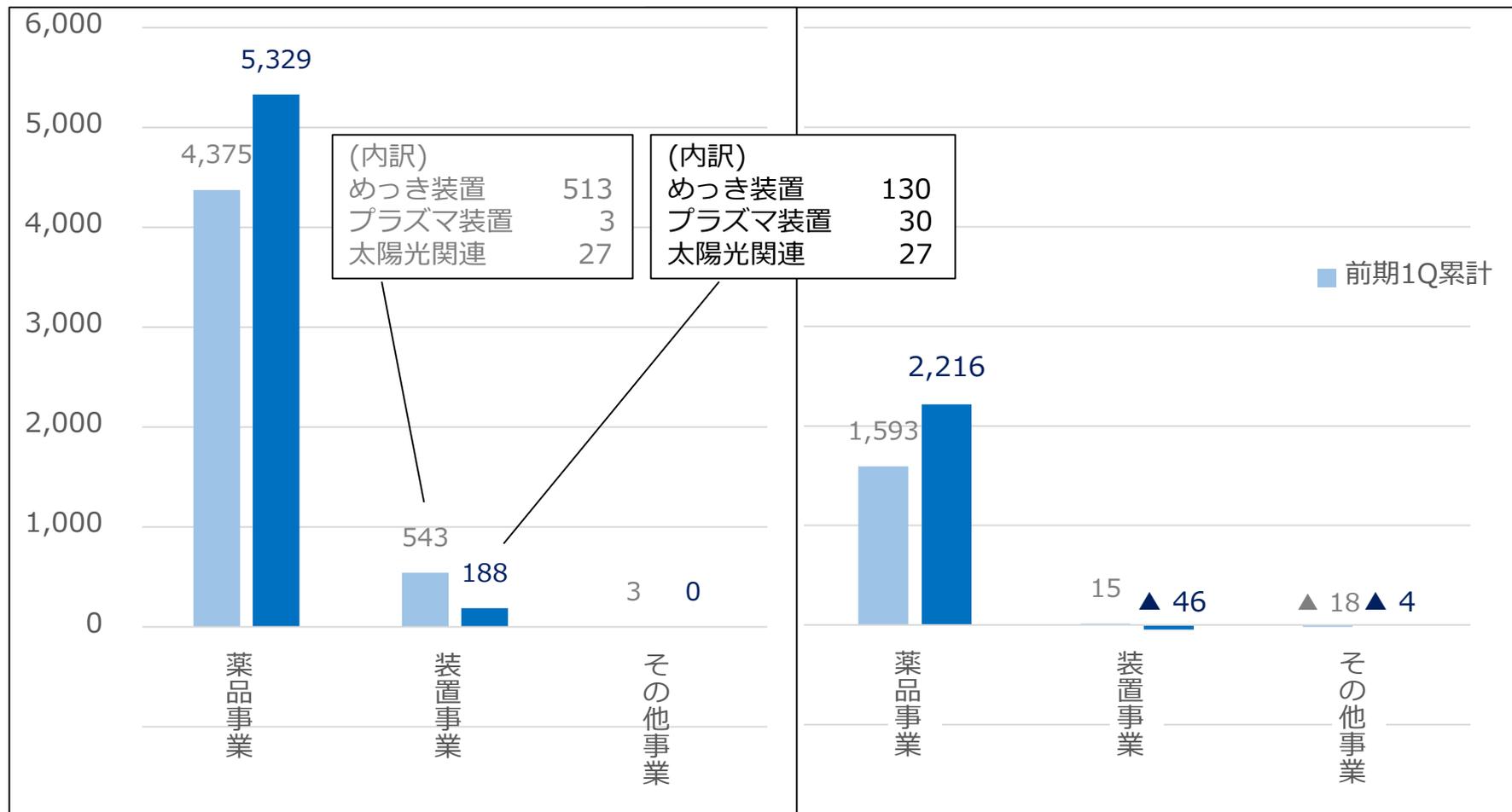


# 四半期別 連結業績の推移(セグメント別)



# 2022年3月期1Q 連結セグメント業績

(単位：百万円)

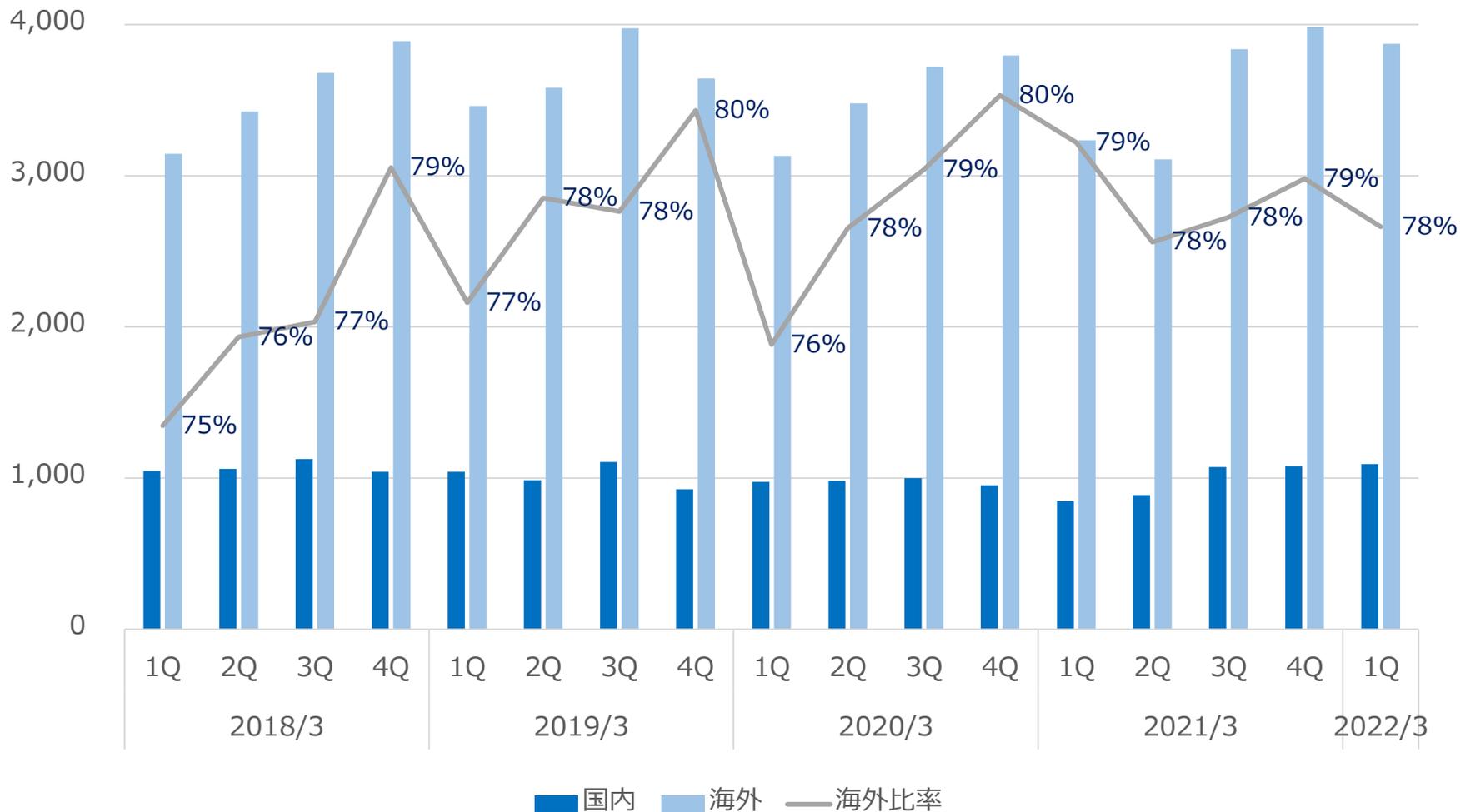


売上高

セグメント利益(損失)

# 四半期別 国内外薬品売上高推移

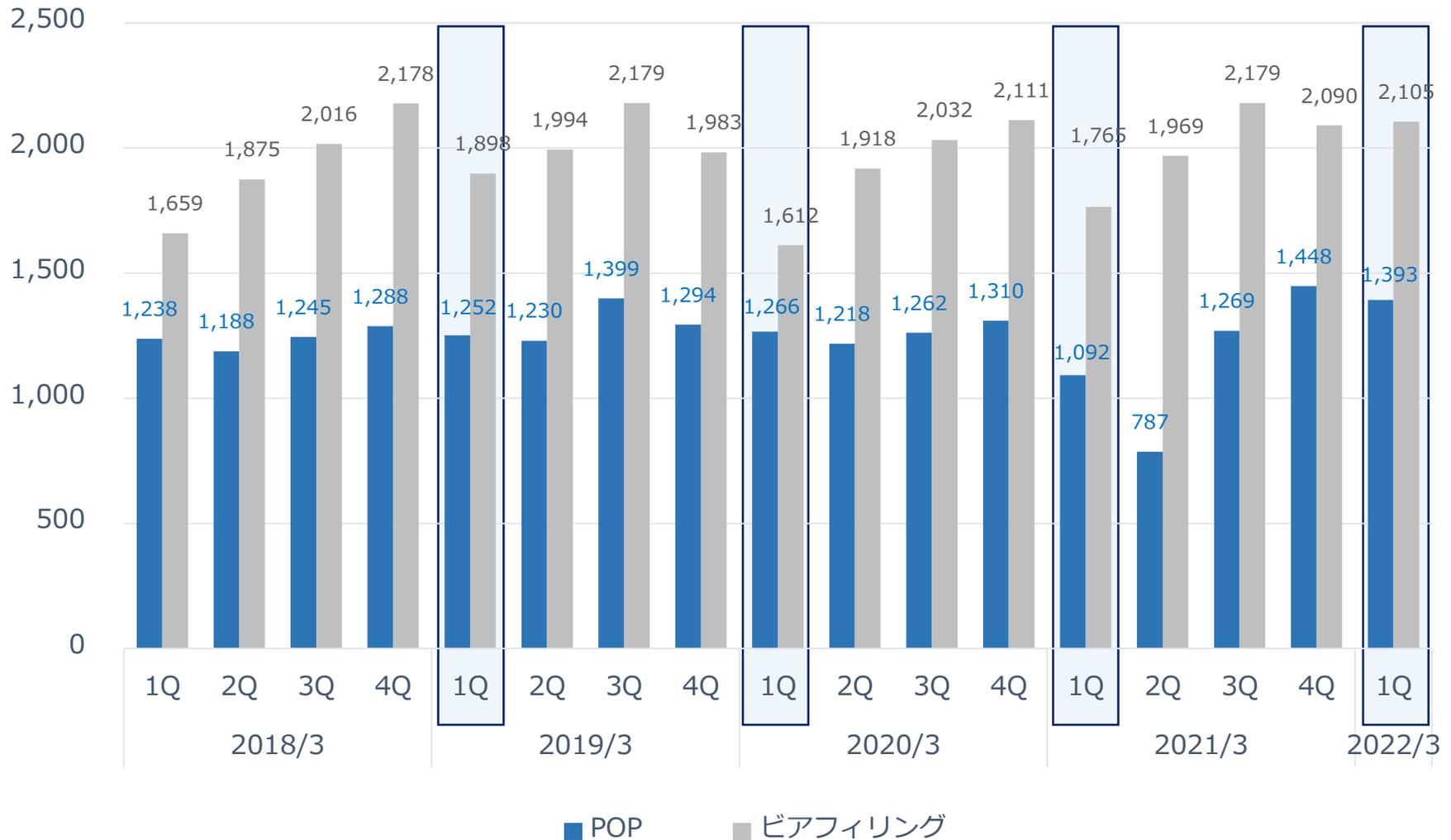
(単位：百万円)



# 四半期別 POP,ビアフィリング用薬品の売上高推移

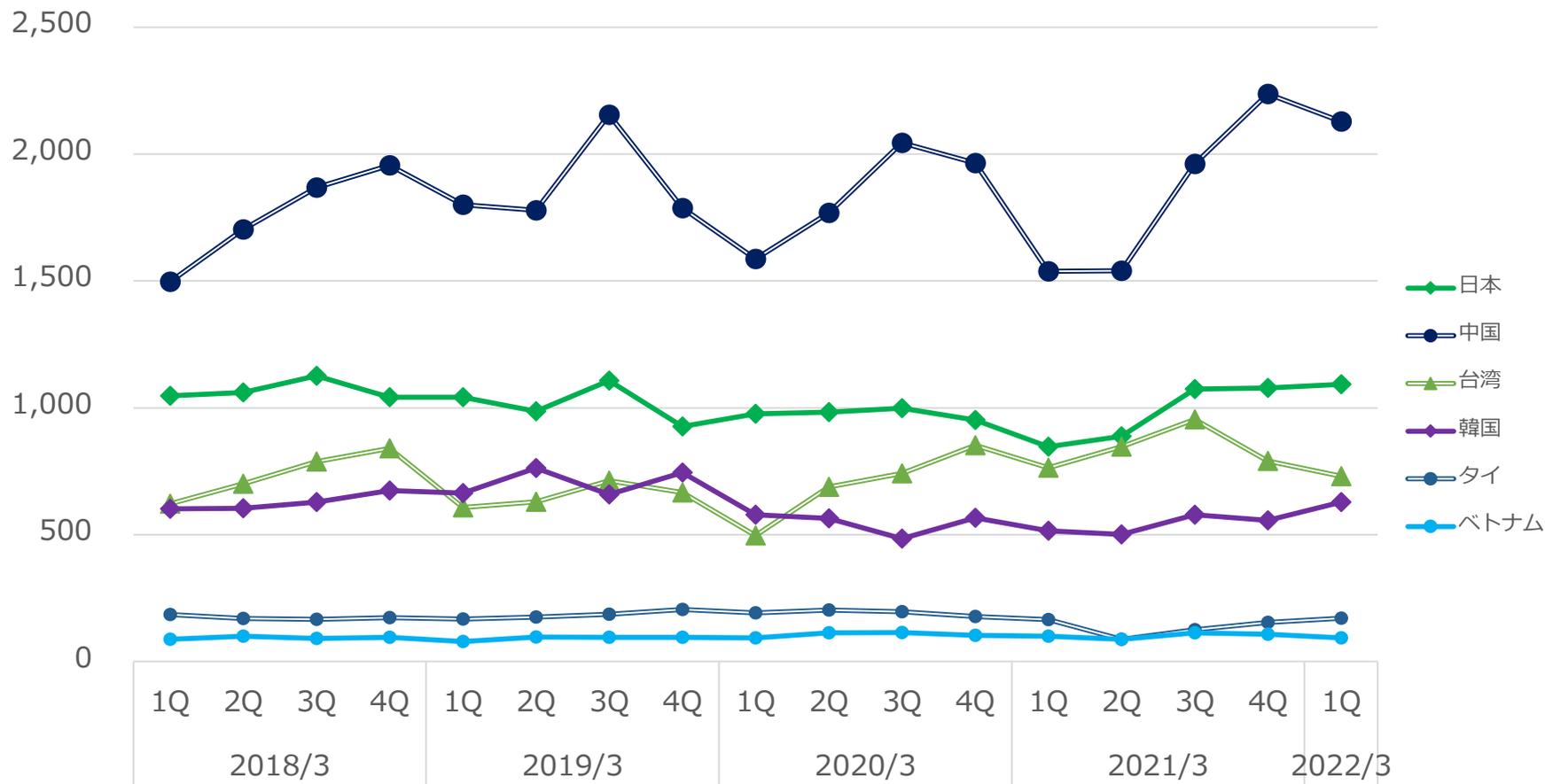
POP (Plating on Plastics)・・・プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け  
 ビアフィリング・・・プリント基板への銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC向け

(単位：百万円)



# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

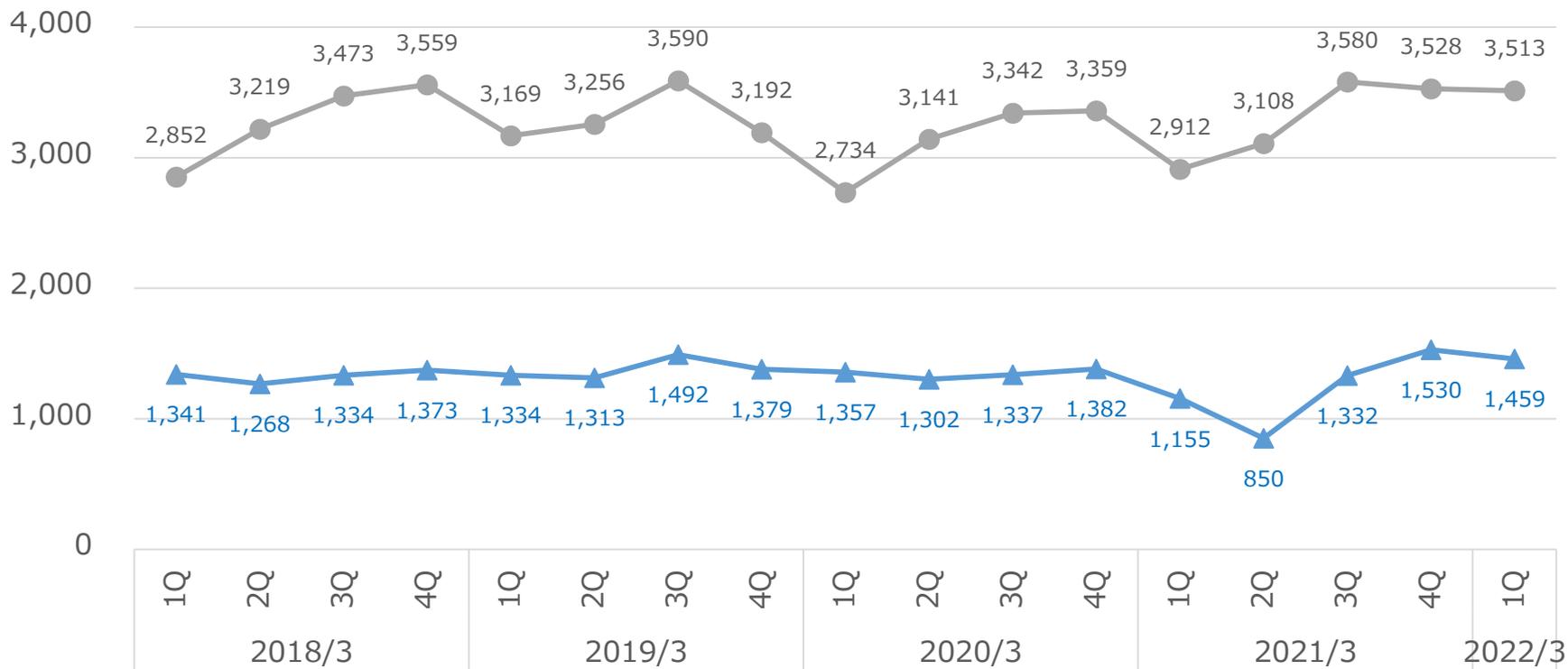
(単位：百万円)



# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

## 連結

(単位：百万円)



(電子薬品) 主力製品：ビアフィリング  
プリント基板、コネクタ、半導体分野  
向けの表面処理(めっき)薬品

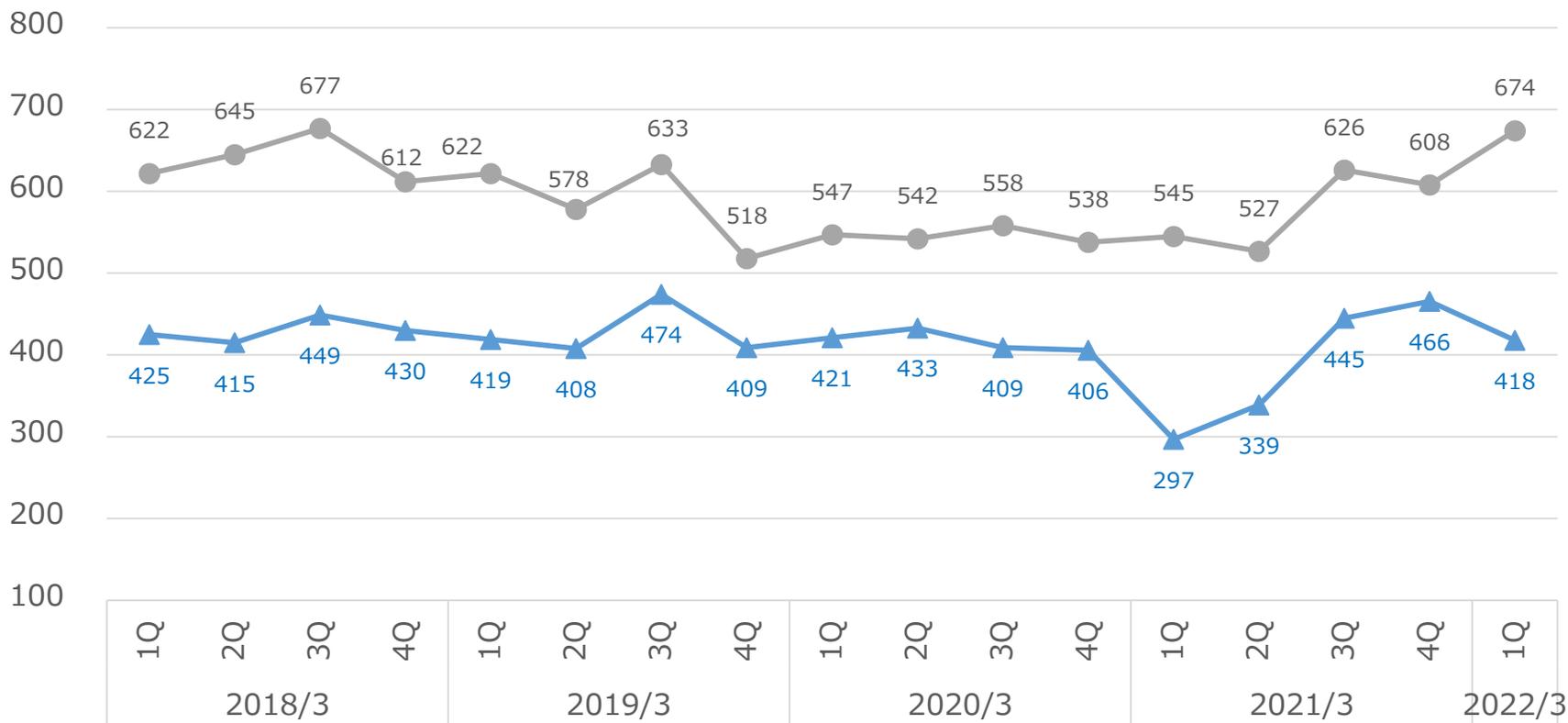
● 電子薬品  
▲ 基幹薬品

(基幹薬品) 主力製品：POP  
装飾、防錆分野向けの薬品。主に自動車部品、  
水栓金具等の表面処理(めっき)薬品

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

## 国内

(単位：百万円)



● 電子薬品  
▲ 基幹薬品

電子薬品

QoQ 11%増 YoY 24%増 累計前期比 24%増

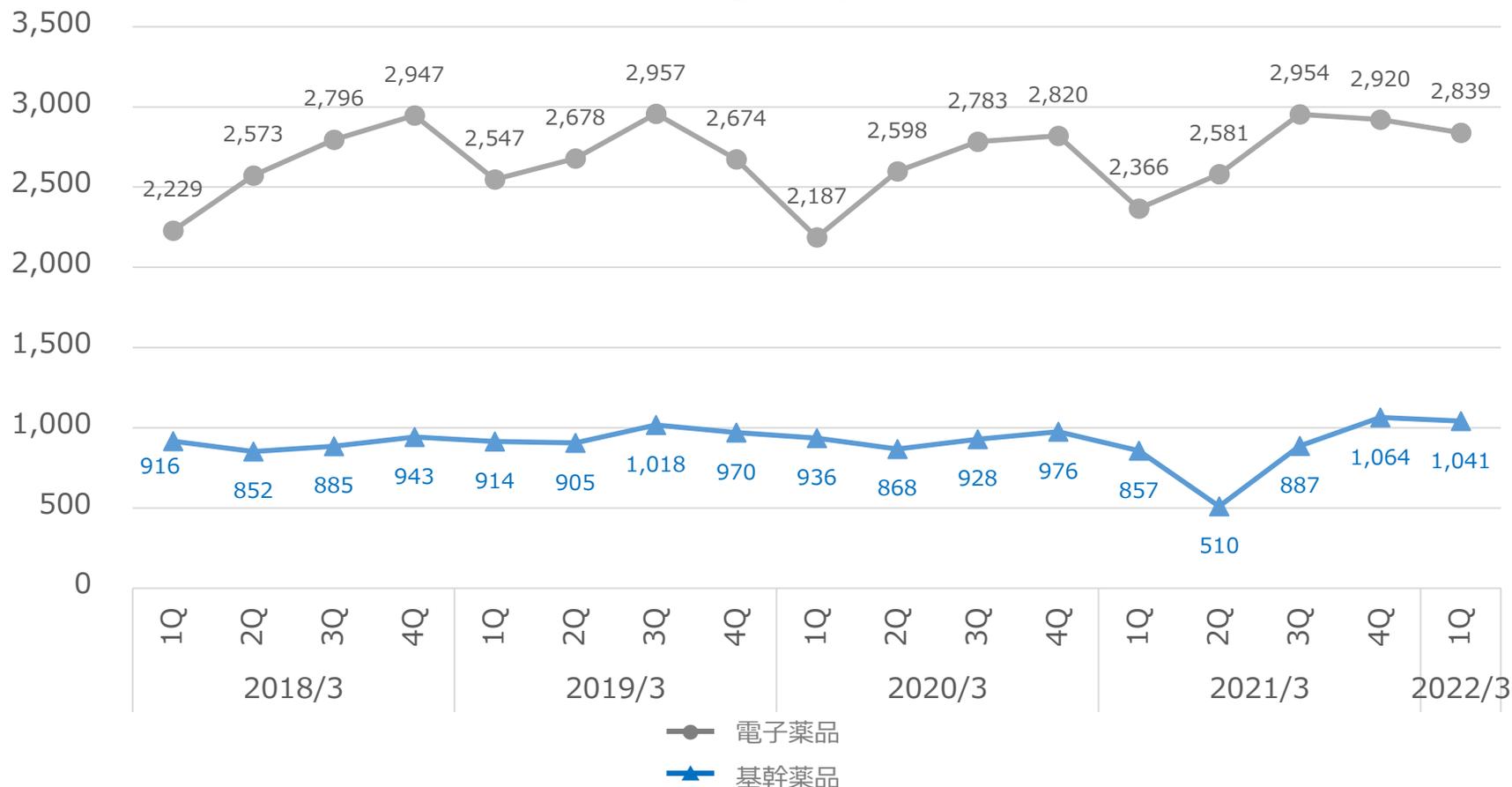
基幹薬品

QoQ 10%減 YoY 41%増 累計前期比 41%増

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

## 海外

(単位：百万円)



電子薬品

QoQ 3%減 YoY 20%増 累計前期比 20%増

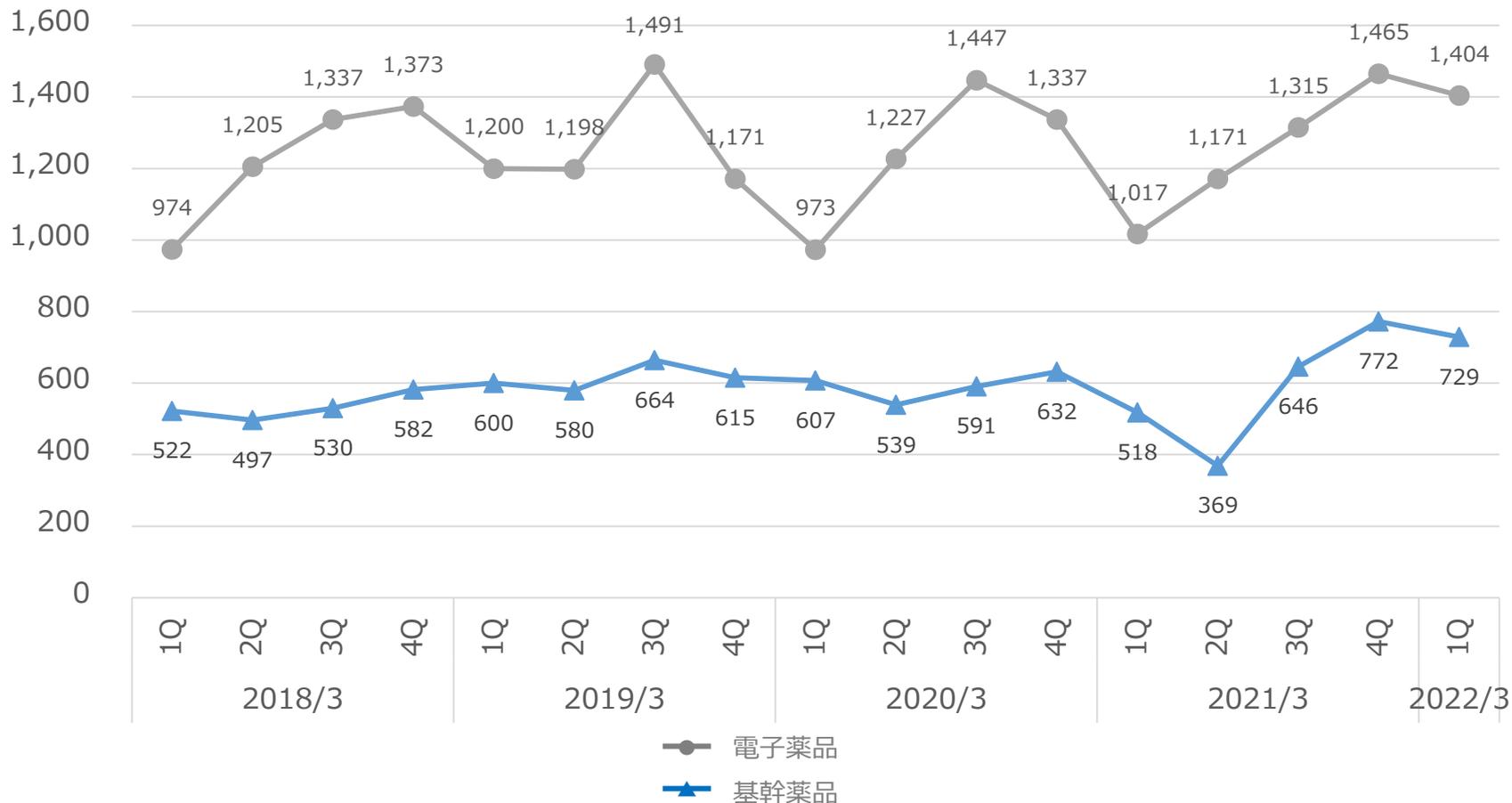
基幹薬品

QoQ 2%減 YoY 21%増 累計前期比 21%増

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

## 中国

(単位：百万円)



電子薬品

QoQ 4%減 YoY 38%増 累計前期比 38%増

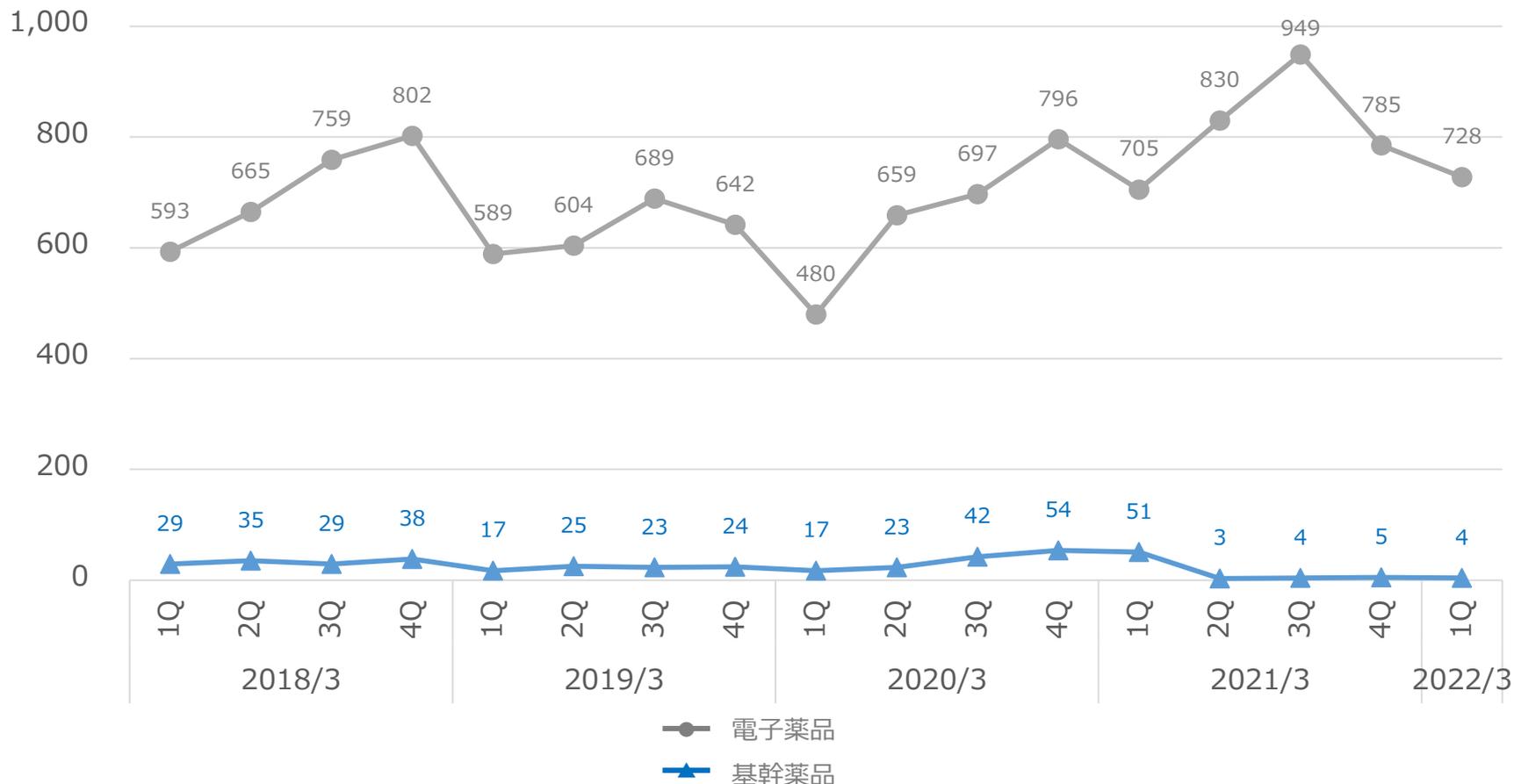
基幹薬品

QoQ 6%減 YoY 41%増 累計前期比 41%増

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

## 台湾

(単位：百万円)



電子薬品

QoQ 7%減 YoY 3%増 累計前期比 3%増

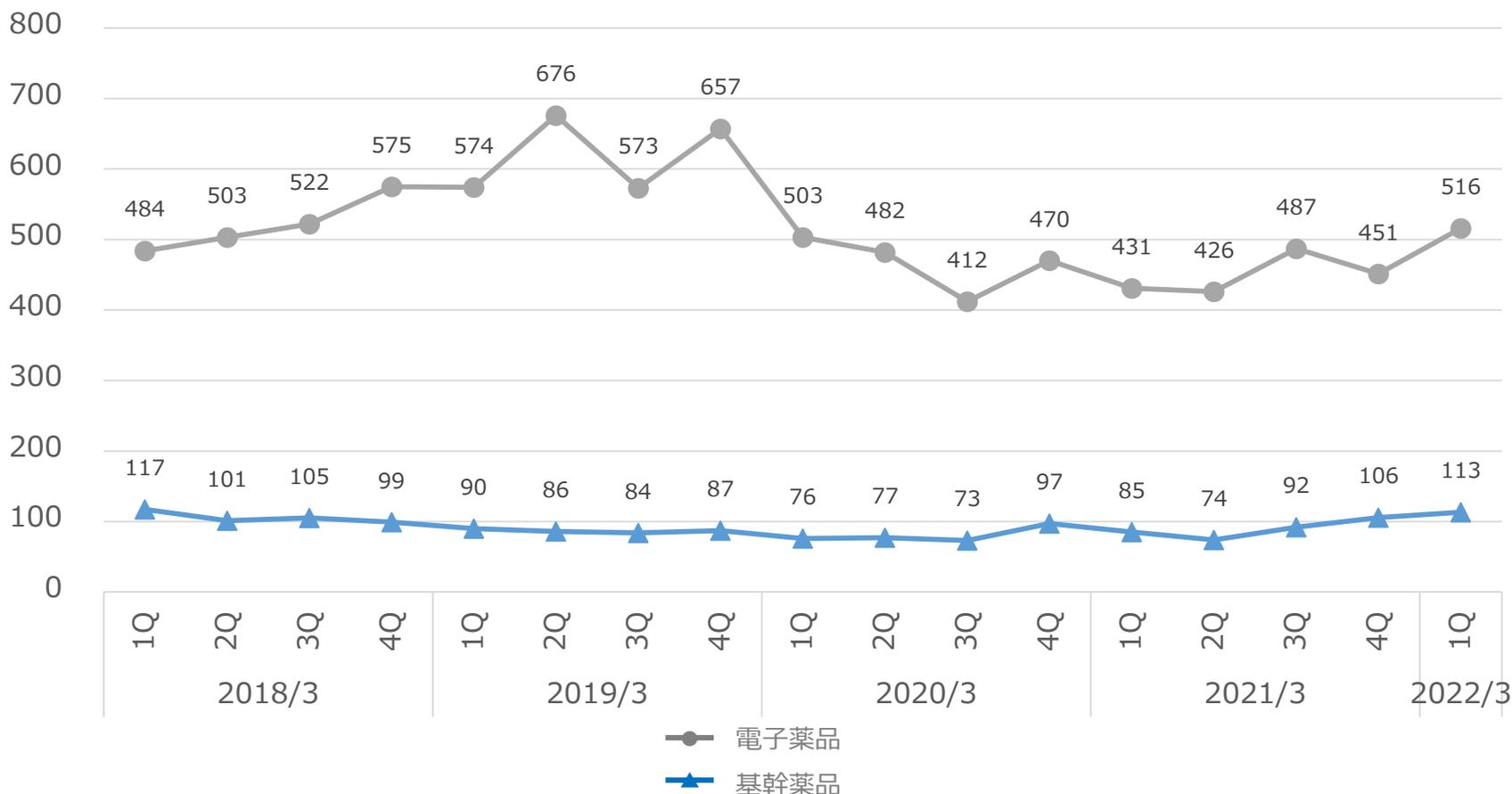
基幹薬品

QoQ 20%減 YoY 92%減 累計前期比 92%減

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

## 韓国

(単位：百万円)



電子薬品

QoQ 14%増 YoY 20%増 累計前期比 20%増

基幹薬品

QoQ 7%増 YoY 33%増 累計前期比 33%増

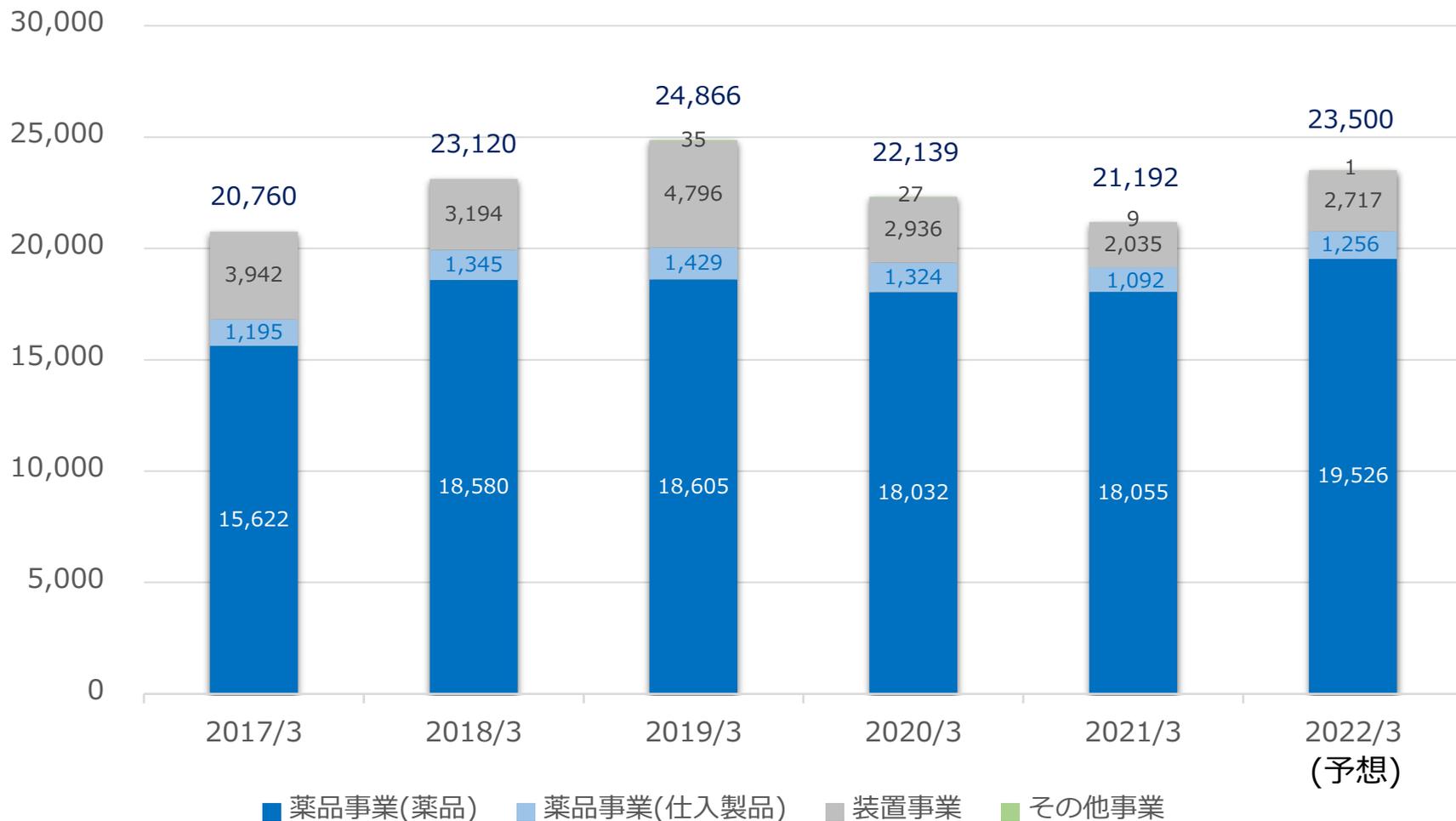
# 2022年3月期業績予想

(単位：百万円)

2021年3月期	1Q (実績)	上半期 (予想)	通期 (予想)	通期予想に 対する進捗 率
売上高	5,517	10,700	23,500	23.4%
営業利益	1,940	3,250	7,500	25.8%
経常利益	2,046	3,300	7,550	27.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,390	2,300	5,300	26.2%
1株当たり 当期純利益	52円95銭	87円59銭	201円83銭	—

# 年度別セグメント別売上高推移 (予想)

(単位：百万円)



# 配当予想

12期連続増配

		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)
1株当たり配当金	中間	23.5円	25.0円	27.0円
	期末	25.0円	25.0円	27.0円
	年間	48.5円	50.0円	54.0円

当社は、持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続してまいります。配当は、安定増配基調継続を目指し、機動的な自己株式の取得による株主還元の実施を基本方針としております。

# 参考資料

- 会社概要
- 主な商流
- 主な製品

# 会社概要

創業 : 1957年 12月

設立 : 1968年 4月 1日

資本金 : 12億3,551万円

年商 : 単体 116億円      連結 220億円      (2021年3月期末)

本社所在地 : 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階

業務内容 : 表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売

代表者 : 代表取締役社長兼CEO      木村 昌志

従業員数 : 単体 250名      連結 561名      (2021年3月期末)

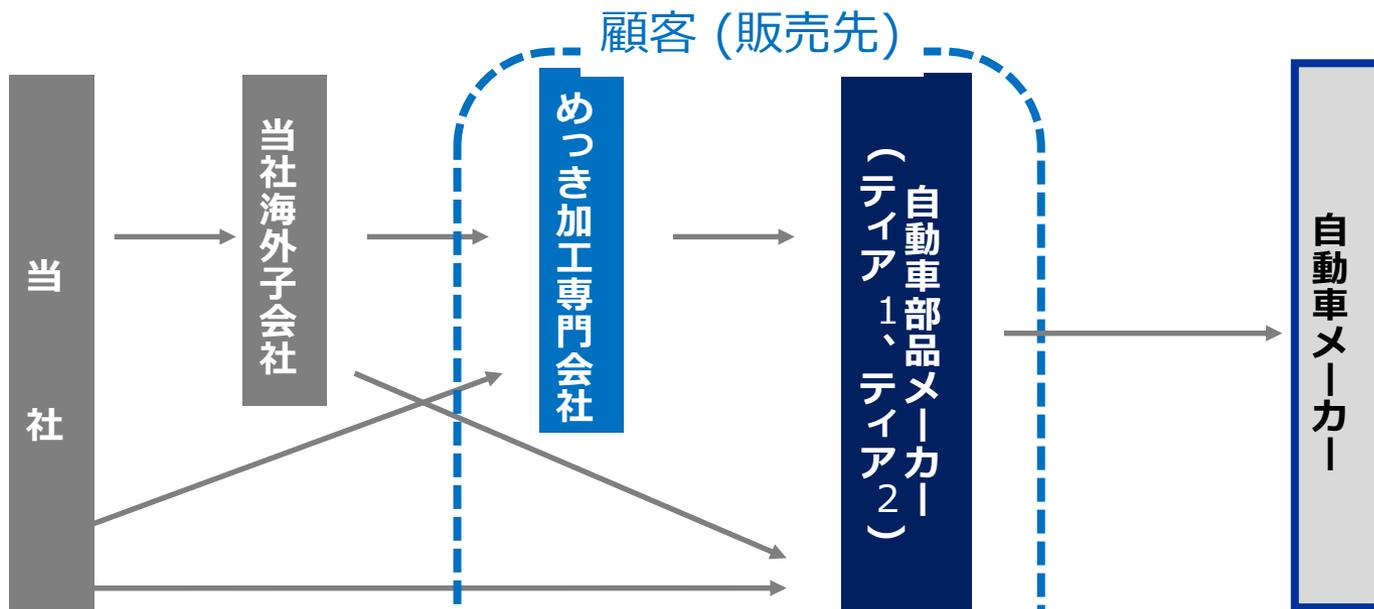
## ISO認証取得

ISO9001      生産本部・本社営業部・総合研究所      JCQA-0281

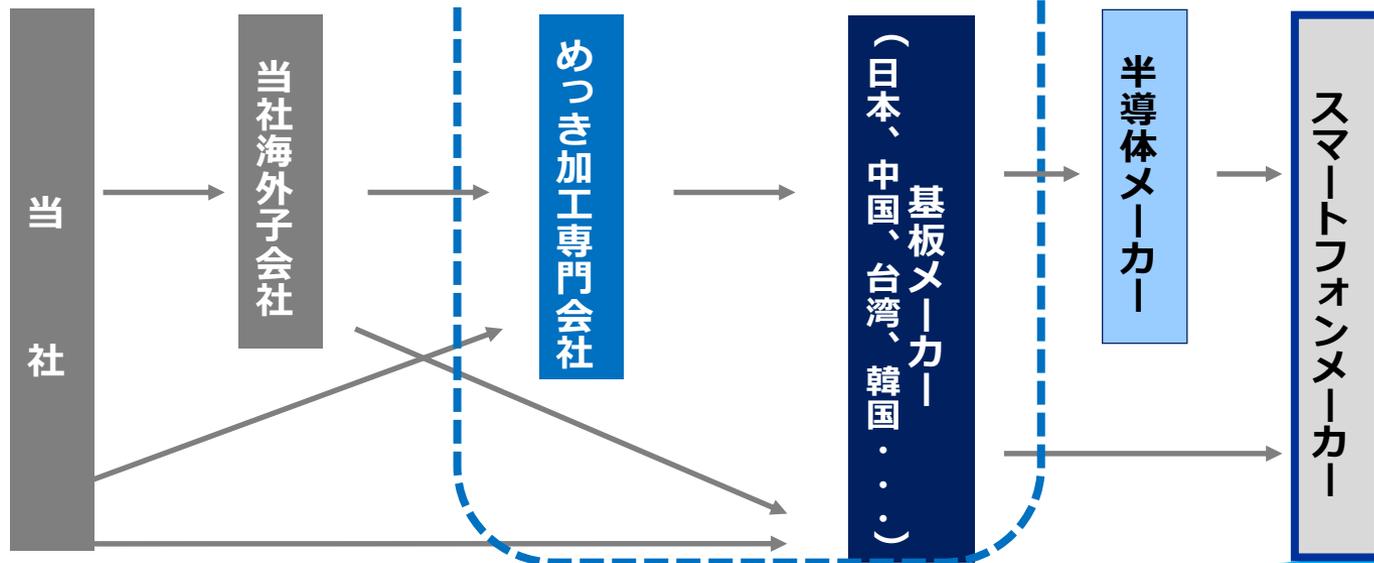
ISO14001      生産本部・総合研究所      JCQA-E-0143

# 主な商流

## 自動車



## スマートフォン



# 主な製品

## 薬品事業

装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品 (フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具 (給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品 (ボルト、ナット等)
電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板 (両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品 (リードフレーム、チップ部品、コネクター等) 半導体 (シリコンウエハー)

## 装置事業

全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ：  
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先：経営戦略室  
TEL: 03-6895-7004